

2024年(令和6年)3月6日(水)第25回例会(通算3007回)

2023-24年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「奉仕の輪を広げよう」

会長：前原 博一 副会長：宮城 早人 幹事：今西 敦之

直前会長：大浜 勇人 副幹事：新里 裕樹 会場監督(SAA)委員長：新川 正人



世界に希望を生み出そう

2023-24年度RI会長テーマ

RI会長：ゴードンR.マッキナリー

栃木一夫ガバナー 地区基本方針

「持続可能な元気なクラブを実現しよう」

地区の合言葉

「ロータリアンの心に火をつけよう」

” Get the joy of Rotary”

今月のロータリーレート 1\$¥151

八重山の民謡

まるまぶんさん 節(二揚)

※マルマ盆山は、西表島祖納湾内の小島で浮巢のように見える。目測で海岸から約二百メートル周囲約二百メートル高さ約二十メートル雑木林が繁茂している夕暮れになると風の反対側に白鷺の群れは集合する。

(八重山民謡誌より)(詠人知らず)

※ヒョホー入れて 歌い出す

●まるまぶんさん ユな<sup>ユ</sup>な<sup>ミ</sup>見<sup>カ</sup>り<sup>バ</sup>風<sup>カ</sup>ぬ<sup>ニ</sup>根<sup>ウ</sup>を<sup>シ</sup>知<sup>ル</sup>ち<sup>シ</sup>居<sup>ル</sup>ち<sup>ユ</sup>る<sup>シ</sup>白<sup>シ</sup>鷺<sup>ル</sup>

(マルマ盆山を、毎夕暮時に眺めて見ると、風の方角を良く知って、坐っている白鷺の群れは実に利口なもんじゃ)

※エイ ヤラ ヤンザー サエーエイヤー ハリバサーヌシー

ヒヤ マツタン タヌム ジュウ (以下同じ)

●阿<sup>ア</sup>立<sup>ダ</sup> 大<sup>ウ</sup>立<sup>フ</sup> 宇<sup>ウ</sup>嘉<sup>カ</sup>利<sup>リ</sup>に<sup>ニ</sup> 下<sup>ソ</sup>原<sup>ン</sup> 真<sup>マ</sup>山<sup>マ</sup> 浮<sup>ウ</sup>道<sup>キ</sup> 成<sup>ナ</sup>屋<sup>リ</sup> 船<sup>フ</sup>浮<sup>キ</sup>

(八つの地名「小部落」を歌っている)

●祖<sup>ス</sup>納<sup>ナ</sup>津<sup>イ</sup>口<sup>チ</sup>ぬ<sup>グ</sup> 見<sup>ミ</sup>し<sup>シ</sup>ん<sup>ン</sup>木<sup>キ</sup>ぬ<sup>ノ</sup>上<sup>ウ</sup>に<sup>ニ</sup> 魚<sup>イ</sup>ゆ<sup>ユ</sup>ます<sup>マ</sup>ん<sup>ン</sup>で<sup>デ</sup> 居<sup>ル</sup>ち<sup>ユ</sup>る<sup>ル</sup>あ<sup>ア</sup>た<sup>タ</sup>ぐ<sup>グ</sup>や

(祖内港の津口の浮標「ブイ」の上に、魚を狙って坐って居るのは「ウミウ」と言う鳥である)

●離<sup>ハ</sup>り<sup>ナ</sup> 湊<sup>ミ</sup> 漕<sup>ソ</sup>ぐ<sup>ク</sup>舟<sup>フ</sup>々<sup>ニ</sup>見<sup>ミ</sup>り<sup>バ</sup> 声<sup>ク</sup>ゆ<sup>ユ</sup>揃<sup>ソ</sup>び<sup>ビ</sup>て<sup>テ</sup>い<sup>イ</sup> 艦<sup>リ</sup>ぬ<sup>ノ</sup>唄<sup>ウ</sup>音<sup>ン</sup>

(外離と内離の二小島「離り」と言う、底深い水路を帰る船人達の、掛け声と「艦・口」の音が調和して素晴らしい)

3のプログラム

3/6(水)ゲスト卓話

3/13(水)ゲスト卓話

3/20(水)休会

3/27(水)夜間例会

例会日 水曜日 12:30~13:30  
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311  
TEL/FAX(0980)83-2917  
E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

◇総会員数：57名（名誉会員2名・出席免除会員2名）

◇出席義務会員数：53名 ◇出席人数：34名 欠席人数：19名 出席率：64.15%

《司会進行：新川 正人・黒島 勝》

◇ロータリーソング：君が代 奉仕の理想 ◇ソングリーダー：大浜勇人

◇ゲスト：池内嘉正様（㈱アイナック取締役会長）・池内ミドリ様

◇ビジター：伊藤たかし様（第2630地区 四日市西 RC）小西貴之様高湯（長崎出島 RC）

山口喜浩様・曾和英徳様（第2740地区 佐世保南 RC）

◇メークアップ：櫻井浩一 松田新一郎 大城文博 南波正幸 森田安高 木下省三 石川尚吾 小林昌道

【第8回理事会報告】

1) 1月能登半島地震支援金の決定について：例会素食ランチ、特別寄付の合計額153,000円を寄付することで承認

2) 2月・3月・4月のプログラム：黒島剛プログラム委員長 調整にて承認

◆ 会長挨拶 ◆  
前原 博一



皆様こんにちは、  
本日も例会にご参加いただきありがとうございます。  
時が経つのは早いものでもう2月の月になりました。  
前回での例会は職場訪問として玉城会員が働く「先島ガス」に行きました。  
いろいろガス販売事業について学ぶことができ、また、美崎町から南ぬ浜町に移転したこともあり新しい社屋・施設で素晴らしい職場訪問になりました。  
玉城会員ありがとうございました。また、職場訪問を計画し、段取りまで設けてくれた職業奉仕委員長の東上里会員本当にありがとうございました。  
今回の訪問で印象に残ったのは、200トンの地上ストレージタンクに上った大田会員のことです。頂上で少年のように喜んでいた笑顔はとても良かったです。  
職業奉仕月間にあった職場訪問の例会でした。

また2月の月は、1905年2月23日 ロータリー創設者ポール・ハリスが友人3人で初めて会合を行ったロータリー創立記念の月であります。  
そして、今月は「平和構築と紛争予防月間」です。  
ロータリークラブがポリオ撲滅に並んで特に重視するテーマの1つであり、その期間には、平和の推進や紛争予防に関する活動が行われると言われております。

平和構築と紛争予防月間のリソースのご案内が RI ページにありましたので紹介します。

< RI ページ > より > 平和の推進

ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じ、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動を起こしています。

との記載がありました。

このように今月はロータリークラブが重視するテーマの1つである「平和構築と紛争予防」の月間で、具体的なプロジェクトの計画は予定しておりませんが、平和構築と紛争予防について今一度、「各会員間でしっかりと考えてみる」月間にしたいと考えております。以上、会長のあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

◆ 幹事報告・報告：今西 敦之 ◆

本日はこの後、卓話をさせていただきます池内様、奥様、ようこそおいでくださいました。また、ビジターといたしまして、長崎出島 RC 小西様、四日市西 RC 伊藤様、佐世保 RC 山口様、曾和様、ようこそご来会ありがとうございます。どうぞごゆっくりお過ごしくださいませ。本日の幹事報告は4点でございます。

- 1). 第8回理事会が終了いたしました。素食ランチは本日をもって終了となります。1/17(水)～2/7(水)までの4回の差異が106,000円でございます。特別寄付と合わせまして、153,000円を能登半島地震の支援金として地区に送らせていただきます。
- 2). 国際奉仕委員会からでございますが、本日の週報と一緒に配らせて頂いておりますシンガポール国際大会の概要や工程をお配りしております。ツアー代金につきましては、2名1室での価格、大会登録料は別となり含まれておりませんので、その旨よろしくお願い致します。締切は3/10日となっておりますので、ご参加の方は森田国際委員長または事務局までお申込みを宜しくお願い致します。
- 3). 友好クラブの北上 RC より「はるか」という品種のリンゴが届いております。例会終了後にお持ち帰りください。
- 4). ロータリー手帳のご案内が届いております。ご購入の方は2/25までに事務局までご連絡ください。

◆ ゲスト卓話：池内 嘉正 氏 ◆

(㈱アイナック 代表取締役会長)

テーマ：地球の島巡り

皆さんこんにちは。今日は、ロータリークラブに呼んでいただきまして、ありがとうございます。何よりも嬉しかったの

は、金城さんから昨日電話がかかってきて、最近全然ロータリークラブに来ていないということで、ゴルフキャンセルして行くからなど、今日、車で迎えに来て頂いてありがとうございます。私もあちらこちらで地球の島巡りの話をさせて頂いています。本当に、島が大好きで島のサポーターとして、島興しということでやっております。島のなかで、元気になるのは、この石垣島と宮古島ぐらいで、あとの島は、どこも人口減で経済もあかんということで四苦八苦しております。しかし、石垣島も宮古島も人口も増えておりますし、観光客も増えております。コロナの間でほとんどの島は絶滅状態になっているところもありますが、2023年24年はポチポチと元気を取り戻しております。それとなかなか人口減というのには、いくら観光客が行こうがなかなか元に戻りそうにもありませんけれども、少しでもお役に立てればと思ってやっています。

何故、島ばかり廻るのかと聞かれますが、私が初めてこの石垣島に来たのが、沖縄が日本に復帰された翌年の50年前に、この石垣島に友達に連れられてやって来ました。非常にのどかな島でこんな良いところが日本にあるんだということで、島がそのうちに段々と好きになり、沖縄の島は全部廻りました。それでも日本の中には何百という素晴らしい島があるんですが、昔の方が人口も沢山で経済も豊かでどの島も潤っていたように思います。

24年前に日本の島巡りの最終の伊予大島に行った時もお遍路でここにいらっしゃる宮良榮子さんご夫妻の結婚30周年記念、それと神戸の林夫妻、妹が胃の全的手術をして1年後に自分自身のチャレンジとして、そして我々は最終の日本の島60島目ということで伊予大島に行きました。その時は63歳を3日間で歩いて、何とか見事達成いたしました。その後24年が経ちまして80歳でもう一度、伊予大島に二人で行きましたが、ギブアップで翌日すぐに神戸の弟に連絡をして、車で迎えに来てもらって、後の2日間は車で廻ったようなこととございます。そもそも私が旅に出るようになりましたのも、27歳の今から57年前にサラリーマンをしていた時に、社長から海外に行ってくれと言われて、月給8万円の時に、200万円の現金を渡され、60日間の休みをやる、月給もちゃんと付けておくと、自分の変わりに行って世界を見て来てくれということでしたが、その時の私は、将来は会計士になろうと思っていたんですが、その道を捨てて海外を見に行こうと決めて、27歳の時に初めて出たのが世界一周でした。まだアメリカとロシアが仲が悪くて、我々の飛行機もロシアの上空を飛ばないような状態で、アメリカのアンカレッジ経由でコペンハーゲンへ降り立ったのを覚えております。1ドル360円でドル持ち出し制限が2000ドル、400グラムのステーキがニューヨークで食べられたような時代で、その当時は日本の円の方が強かったように覚えております。そしてその世界の出張から帰って来ました時に、フランスで持ち帰った1本

のヘアブラシをアレンジして発売したところ、爆発的に売れました。社長からはまたいつでも行っていいぞということで、会社からカラ出張を頂きまして、あらゆるところに趣味も兼ねて行きたいところに行かせていただいたのが、旅行が大好きになってしまったような訳です。もともとは、日本の島を廻ろうと思ったのが、57歳で会社を引退して社員に引き継ぎまして、ゴルフが大好きでアメリカにゴルフ留学で行ったんですが、僅か2ヶ月で筋肉が切れてしまって、ゴルフが出来ない体になって帰って来ました。

島巡りでもしようかと思えばゴルフバック担いで、試合には出れないが遊び程度ならできるので、石垣島からスタートしました。一人で行っても旅はぜんぜん面白くないので、女房のミドリと一緒に行ってくれないかと、最初は島なんかイヤだと言って渋々行って貰ったんですが、その内60歳で60島を1年4ヶ月かけて島巡りをできました。その時の島巡りの感想は、まだまだ島は自然が豊かで観光客もいっぱい経済的にも発展している島もありましたので、島は本当にいいなということで、60歳からまだまだ何かしようと考えた時に、62歳の時に北極点の船旅のツアーがありまして、一度乗ってみようかということで船旅へ。北極点に行く間に船からヘリで島へ渡るといようなアクティビティな旅をいたしました。その船の中で、女房と相談しまして、南極点にも行ってみたいなど、どうやって行くのか、その当時はまだスマホもあんまり盛んではなく、パソコンもまだやっていなかったのも、じゃ一つ、地球の島を廻ろうかということから、地球の島巡りが始まりました。日本の島巡りでは、60の島再発見の出版パーティーをこの日航ホテルでやったのを記憶しております。ゴルフジュニアの父兄が協力して頂きまして450名のお客様が来て頂いて、当時の日航ホテルに安い料金でさせて頂きました。そしてその本の収益金を、いろんなスポーツ用品等を全国の小学校(船浦中学に野球用具一式・その他の小学校にバックネット・卓球台・跳箱・マット・一輪車・サッカーボール・琴など)に寄付したりしながら60島を廻ることができました。それから3年後に、北極点の船の中で、地球の島巡りを始めようという計画を立てました。私は英語も出来なかったし、パソコンも出来なかったし、それで慌てて写真家のところに弟子入りしまして、パソコン教室に入って、一年ですぐにHPが出来るように教えてもらって、それからダイビング、英会話と62歳で本当に忙しかつたのですが、体力もあったので、何から何まで一からやってみました。63歳からまず最初に行ったのが、日本語の通じる島に行こうということで、マイクロネシアあたりの、戦争が終わって日本人が残って住んでいるような島ばかりを廻りました。それから徐々に英語も出来るようになりまして、7年かけて70島の島、最後は念願の南極点に行こうということで、日本でアメリカの会社に申し込んでやっと南極点に降り立った時は、標高3000メートル、天候は確か-26℃、寒いと聞いておりまし



たので、着いたらなんと汗だくでアメリカの休憩所で着替えてパトリオットヒルズまで帰ってきたのを覚えています。また、島巡りだけではなく、行った先の小学校を訪問して、日本の良さや現地の人と通訳も交えて話ができたりしてとても良かったと思っています。石垣島にも、今は1ヶ月半しか来ておりませんが、昔は年に何回も来まして、社長

交代のパーティーも石垣島で、ということで全て石垣島を中心にやっておりました。今後も石垣島がどんどん発展していくと思いますが、他の島も石垣島の皆さんが助けてあげて、島全体が、日本自体が島国ですので、そういった形で日本の発展があるのではないかと考えております。ありがとうございました。

～ 例会 風景 ～



池内嘉正様・ミドリ様  
ご来会ありがとうございました。

**本日のニコニコ:** ☆山口喜浩様・曾和英徳様:ダイビングに訪れました。佐世保と違い過ごしやすく楽しんで参りました。せっかくですのでメーキャップさせていただきます。この様な格好で申し訳ありません。  
 ☆前原博一会長:池内さん、今日は卓話ありがとうございました。  
 ☆今西敦之幹事:池内様、本日の卓話よろしくお願い致します。四日市西ロータリー伊藤様、佐世保南ロータリー山口様・曾和様 長崎出島ロータリー小西様、ご来島ありがとうございます。  
 ☆宮良榮子氏:池内さん、卓話ありがとうございます。感謝 ☆黒島剛氏:池内様下、卓話ありがとうございました。  
 ☆新賢次氏:池内嘉正様、世界各国の島々の自然文化など、興味深いお話をありがとうございました。また、先日は母の葬儀に際しましては、会長をはじめ多くの会員の皆様にご焼香賜りまして有難うございました。

◆BOX¥7,000(累計¥488,830) ◆コイン¥3,683 (累計¥36,089)合計¥524,919

【地区大会】 2024年(令和6年) 2月 28日(水) 第24回例会(通算3006回)

於: 帝国ホテル



栃木 一夫 ガバナー挨拶



1935年に来日したポール・ハリスが帝国ホテルの庭に月桂樹を記念植樹



大浜一郎氏 7日(木) 比嘉一史氏 7日(木)  
 宮良幸男氏 13日(水) 大田次男氏 14日(木) 玉城一吉氏 14日(木) 南波正幸氏 29日(金)

